

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生拠点整備タイプ) 事業効果検証シート
(R6年度事業分)

		担当課	観光課						
交付対象事業名	滞在型宿泊施設整備事業（国民宿舎サンレイク草木のリニューアル工事）		R6 事業費 (円)	計画額	200,516,000				
総合戦略の位置付け	基本目標5 地域特性に応じた魅力発信と定住促進（観光）			実績額	200,516,000				
事業実施期間	令和6年度～令和8年度			交付額	100,258,000				
事業概要	官民連携型の観光拠点を整備することで、新たな滞在型の観光マーケットの創出や拠点をベースとした体験型コンテンツの充実を図り、観光誘客を図るとともに、観光消費を促進する。一年目として、施設の建替（国民宿舎サンレイク草木のリニューアル）に向けた、解体工事及び飲食棟改修工事を実施する。								
活動内容	(1) 解体工事 ・施設解体工事一式 (2) 飲食棟改修工事 ・建築工事一式 ・電気設備工事一式 ・機械設備工事一式 ・外構工事一式								
主な成果	(1) 解体工事 ・既存施設解体 3,678.32㎡ (2) 飲食棟改修工事 ・施工面積 487.95㎡ 飲食棟、事務所棟及び外構								
重要業績評価指標 (KPI)	指標(単位)		開始前 (R5)	R6	R7	R8			
	市内観光消費額（円）	目標値	1,500,000,000	1,500,000,000	1,500,000,000	1,620,000,000			
		実績値	1,678,582,000	10月確定					
	施設利用者数（人）	目標値	0	0	0	13,000			
		実績値	0	0					
	施設運営収支（円）	目標値	0	0	0	-7,248,000			
		実績値	0	0					
施設を利用した、市民協働によるイベント及び周辺事業者との連携イベント（プラン造成含む）の開催 (回)	目標値	0	0	0	10				
実績値									
取組の検証	事業効果	③地方創生に効果があった							
	課題・改善点	入札不調により、全体スケジュールを見直したため、工事着手が遅れたが、発注者・施工監理者・請負業者が密に打合せを実施し、進捗管理を徹底することで概ね計画通りに進めることができた。 施設の新築工事へ円滑に移行できるよう、令和7年度分の工事についても進捗管理を徹底し、計画通りの完成を目指す。							
今後の 事業展開の方針	①事業の継続（計画通りに事業を継続する（または、概ね同内容で継続する））								
	観光拠点となる宿泊施設に乏しい本市において、周遊観光の核となる施設整備事業が必要であるため、令和8年度中のオープンに向けて、計画通り事業を継続する。 また、事業完了後には、新たな施設を観光拠点とした、滞在型の観光マーケットの創出や体験型コンテンツの充実を図り、民間事業者と連携して観光誘客を図るとともに、観光消費の拡大を図る。								
＜今後の方針＞ ①事業の継続（計画通りに事業を継続する（または、概ね同内容で継続する）） ②事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等さらに発展させる） ③事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う（または、行った）） ④事業の縮小 ⑤事業の中止（継続的な事業実施を予定したが中止する（または、した）） ⑥事業の終了（当初予定通り事業を終了する（または、した））									
外部有識者会議による評価		①KPI達成に有効であった							
意見		進捗状況を毎年度検証委員会にてはかり、完成後の施設については市の観光の柱となるような活用を行うこと。							

①KPI達成に有効であった
②KPI達成に有効とは言えない